

令和7年11月吉日

関係各位

福井大学医学部附属病院
地域医療連携部 三嶋 一輝

第2回 HIV 感染症患者の療養支援に関する心理職と MSW の協働シンポジウム
開催のお知らせについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

HIV 感染症患者の長期療養を支えるため、全国のエイズ治療拠点病院は地域連携を推進しています。エイズ予防指針はチーム医療の重要性を強調しており、HIV 診療チームの心理職、医療ソーシャルワーカーは、両職種の連携力を強化し、心理・社会的な支援の包括的な支援体制を構築する必要があります。

この度、エイズ治療拠点病院の心理職と医療ソーシャルワーカーの連携・協働について、シンポジウムを企画しましたので、ぜひご参加ください。

ご多用のところ、恐れ入りますが、貴施設の心理職、医療ソーシャルワーカーへのご案内をよろしくお願いいたします。

タイトル：「第2回 HIV 感染症患者の療養支援に関する心理職と MSW の協働シンポジウム
～エイズ治療拠点病院における先駆的連携活動の実際」

日時：2025年12月18日（木）18時から19時10分（70分）

方法：オンライン（ZOOM）

主催：厚生労働行政推進調査事業費補助金 エイズ対策政策研究事業

HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究

研究代表者：瀧永博之（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

研究分担者：三嶋一輝（福井大学医学部附属病院） 「Ns との協働による要介護・要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

研究協力者：木村聡太（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター） 他

【問い合わせ先】

福井大学医学部附属病院
地域医療連携部 三嶋 一輝
電話：0776-61-8645

第2回 HIV感染症患者の療養支援に関する 心理職とMSWの協働シンポジウム

エイズ治療拠点病院における 先駆的連携活動の実際

HIV 感染症患者の長期療養を支えるため、全国のエイズ治療拠点病院は地域連携を推進しています。エイズ予防指針はチーム医療の重要性を強調しており、HIV 診療チームの心理職、医療ソーシャルワーカーは、両職種の連携力を強化し、心理・社会的な支援の包括的な支援体制を構築する必要があります。

この度、エイズ治療拠点病院の心理職と医療ソーシャルワーカーの連携・協働について、シンポジウムを企画しましたので、ぜひご参加ください。

対 象

HIV 診療に携わる
心理職と医療ソーシャルワーカー

日 時

令和 7 年

12月18日 木 18:00~19:10

方 法

ZOOMによるオンライン
事前申し込み(先着150名)

<https://forms.gle/YYYYomrVZ7HC7MCDc9>

あるいは QRコードから



締切：12月9日 火 正午

* 個人情報は運営管理の目的以外に使用しません。

プログラム

- | | | |
|--------|-------|---|
| 進 行 | 三嶋 一輝 | 医療ソーシャルワーカー
(福井大学医学部附属病院) |
| | 高村 佳幸 | 臨床心理士 (順天堂医院) |
| 開会挨拶 | 潟永 博之 | 「HIV 感染症の医療体制の整備に
関する研究」班 研究代表者
ACC センター長 |
| シンポジウム | | |
| 講 演 | 高野 公輔 | 専任講師 (明治学院大学心理学部) |
| 事例提供者 | 青野加奈子 | 医療ソーシャルワーカー
(石川県立中央病院) |
| | 越野 紗矢 | 心理カウンセラー
(石川県立中央病院) |
| 総合討論 | | |
| 閉会挨拶 | 木村 聡太 | 心理療法師 (国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター) |

主 催

厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業
HIV 感染症の医療体制整備に関する研究
研究分担者：三嶋一輝「Ns との協働による要介護・
要支援者に対する療養支援のネットワーク構築」

後 援

公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会
一般社団法人 日本臨床心理士会
公益社団法人 日本公認心理師協会

協 力 者

非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者の長期療養体制
の構築に関する患者参加型研究
研究分担者：木村聡太「サブテーマ3 神経認知障害・心理 非加熱血液凝固因子
製剤による HIV 感染血友病等患者のメンタルヘルスと心理支援に関する研究」

問い合わせ先

福井大学医学部附属病院 地域医療連携部 三嶋 一輝
TEL 0776-61-8645 (平日 9:00 - 17:00) ※当日 TEL 080-2966-7362